



福島県

福島県は、中央の中通り、内陸の会津、海沿いの浜通りに大きく区分され、それぞれ固有の自然や文化があります。今回は、秋の観光シーズンにおすすめの名所、食をご紹介します。

こらっせ 秋の“ふくしま路” ～福島・秋コレクション～

「こらっせ」は、「どうぞお出てください」という意味の福島の方言。

◎【観光】

（紅葉の名所）

●大内宿（下郷町）

会津若松と日光今市を結ぶ街道として栄え、江戸時代の風情を今に伝える宿場町。かつての街道沿いには、往時の面影を残す茅葺き屋根の民家が並び、国重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

●磐梯吾妻スカイライン（福島市）

日本の道百選にも選ばれている、紅葉の名所の一つ。沿線には、作家・井上靖が命名した「吾妻八景」が広がります。九月下旬から十月中旬にかけて、一面、赤や黄色、橙の絶景に包まれます。

●国宝白水阿弥陀堂（いわき市）

平安末期の代表的な建築様式を用い、平泉の金色堂にならって造られたとされています。十一月上旬から中旬には、池の水面に紅葉が鮮やかに映し出され、優雅な雰囲気醸し出します。

（秋祭り）

●白河提灯まつり（白河市）

「九月十九日～二十一日」
 福島に秋の訪れを告げる祭りの一つで、約四百年の歴史を誇ります。別名「儀式祭り」と言われる程、武家社会の格式を導入した独特な祭りです。闇夜に



1. 大内宿
2. 磐梯吾妻スカイライン
3. 白水阿弥陀堂
4. 白河提灯祭り
5. 会津秋まつり
6. 二本松ちょうちん祭り
7. ネギそば
8. 梨
9. ぶどう
10. りんご

7		5		3	1	2
10	9	8	6		4	

浮かぶ提灯の灯りは古のロマンを感じさせます。

●会津まつり(会津若松市)

「九月二十一日～二十四日」
毎年秋に行われる会津若松最大の祭り。特に今回の「会津藩公行列」は、大河ドラマ「天地人」で会津領主・上杉景勝公とその重臣・直江兼続が取り上げられていることから、同番組出演者の特別参加によって、さらに迫力ある歴史絵巻が展開される予定です。

●二本松提灯祭り(二本松市)

「十月四日～六日」
幾千もの提灯が秋の夜を彩る二本松市の代表的な秋の風物詩。一台の太鼓台には約三百の提灯が飾られます。初日には太鼓台が七台連なり、情緒豊かな祭り囃子に合わせて市内を練り歩きます。

◎【食】

●そば

秋は新そばの季節。おいしい水に恵まれた福島は、全国有数のそば処で、そばの栽培面積は全国第三位。

地域独特の食べ方もあります。飯豊連峰のふもと、喜多方市山都町宮古地区には、そば本来の味・香りを楽しむ「水そば」

猪苗代町には祝言の際、「そば口上」にのせて振る舞われる「祝言そば」があります。

また、会津南部では、つゆの代わりに大根おろしを使ったり、箸の代わりにネギを使う(大内宿ネギそば)など、さまざまなかたちでそばを楽しむことができます。

●くだもの

果物王国福島では、秋に梨、ぶどう、リンゴがシーズンを迎えます。

梨は全国第四位の生産量。中でも、福島市は市町村別の生産量日本一を誇ります。ぶどうの主力品種は「巨峰」で、福島県オリジナル品種の「あづましずく」は、抜群の甘さと溢れる果汁、食べやすさが魅力です。晩秋の果樹園を彩るりんご「ふじ」は、密入りも十分です。是非福島で、とれたての果物を味わってください。

〈問い合わせ先〉
福島県観光交流課
TEL 024-521-7286
福島県観光ホームページ
<http://www.tif.ne.jp/>